

日 時	講 師 ・ 講 義 内 容
<p>5月23日(土) 10時00分～10時30分 ※開講式</p> <p>10時30分～12時00分 ※講義</p> <p>丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p>第1回 講義 角野 幸博 [まちなかのリノベ] 丹波には魅力的なまちなかがたくさんあります。でもその多くには、以前の賑わいが感じられません。稼ぎ方や暮らし方が変わると、めざすべきまちなかの姿も変わるのかもしれませんが。立派なビルや大きな店がたくさんある「固い」まちなかではなく、様々な用途や人々が関わりあう「柔らかい」まちなかをめざします。丹波の森は丹波地域全体を指す言葉です。丹波の森構想の視点から、丹波ならではのまちなかをどうリノベしていけばよいのか、一緒に考えてみましょう。</p>
<p>6月20日(土) 10時00分～11時30分</p> <p>丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p>第2回 講義 押田 佳子 [上野の森が出来るまでー徳川家菩提寺から日本初の公園へー] 全国的に有名な「上野恩賜公園」は、江戸時代以前はその敷地の全域が徳川家の菩提寺である寛永寺の境内地でしたが、戊辰戦争の戦地となり、廃寺へと追い込まれました。その後、同地は明治新政府に接收され、1873年の太政官布達によって、芝、浅草などと共に日本初の公園に指定されました。</p>
<p>7月4日(土) 10時00分～12時00分</p> <p>丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p>第3回 講義 出町 慎 [空き家のリノベーションを通して、「何を」デザインしていくのか？] 丹波市青垣町にある旧宿場町・佐治地域での空き家の再生・活用の実践を通して、「豊かに暮らし続けることができる“まち”」へ、リノベーションする過程を紹介します。空き家を再生するプロセス・過程をどうデザインするのか…そして、私たちはこれから「何を」リノベーションすべきなのか一緒に考えていきたいと思います。 安達 鷹矢 [地域内総生産(GAP)の向上とリジェネラティブな町なみの再生～創造的職人を核とした特定地域づくり事業協同組合の戦略的展開～] 人口減少下での持続可能な地域経営を目指し、丹波篠山市福住における「リジェネラティブ(再生型)な観光まちづくり」の社会実装を詳説します。本講義では、特定地域づくり事業協同組合を活用し、分散型雇用によって「創造的職人」のバックオフィスやDX化を伴走支援する独自のエリアマネジメント手法を提示。地域内総生産(GAP)の最大化を指標に、高付加価値なコンテンツ開発と景観保全を連動させ、面的再生を実現する長期戦略を論じます。</p>
<p>8月22日(土) 10時00分～11時30分</p> <p>丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p>第4回 講義・ゼミ内容 平櫛 武 [地域団体の関係性を再構築するファシリテーション技術とは？] 近年、地域団体(自治会、町内会、地域づくり協議会、NPO等)において、組織力を高めてきた結果、成果や実績を残したものの、その後、組織の高齢化、弱体化、形骸化などにより、新たに再構築することができない地域団体の声を聴くことが増えています。その原因を参加者の皆さんと共に学び、方向性に気づくことができる研修にしようと思っています。過去に講義してきた「ファシリテーション技術」を基本にしながら、一緒にその解決策を考えてみませんか？</p>
<p>9月11日(金) 13時30分～16時30分 丹波篠山市民センター催事場①②</p>	<p>ゼミ1回目 「地域で話を引き出す技術」～リレー・ファシリテーション～ 進行役とファシリテーターの違いをご存知ですか？地域住民と話をする際に必要となる、実践技術の基礎的な実践ワークショップです。</p>
<p>10月9日(金) 13時30分～16時30分 丹波篠山市民センター催事場①②</p>	<p>ゼミ2回目 [地域で話を集約する技術]～ローリング・ファシリテーション～ 地域意見を重みづけし、課題抽出するなど、地域住民の合意形成を行う際に必要となる、実践技術の応用的な実践ワークショップです。</p>
<p>10月23日(金) 13時30分～16時30分 丹波の森公苑多目的ルーム</p>	<p>ゼミ3回目 [地域で話す場をつくる技術]～サバイバル・ファシリテーション～ 本番さながらの実践訓練型であり、地域住民とワークショップを行う場を考えるために必要となる、実践技術の応用的な実践ワークショップです。</p>
<p>11月27日(金) 13時30分～16時30分 丹波の森公苑多目的ルーム</p>	<p>ゼミ4回目 [地域で話を見える化する技術]～レコード・ファシリテーション～ みんなで伝えて、みんなで描こう！地域住民から聞いた話を記録する際に必要となる、実践技術の基礎的な実践ワークショップです。受講者のゼミ報告を活用します。</p>

日 時	講 師 ・ 講 義 内 容
<p style="text-align: center;">公開講座</p> <p style="text-align: center;">9月5日(土) 10時00分～11時30分 丹波篠山市民センター 多目的ホール</p>	<p>第5回 講義 横山 真弓 [野生動物はなぜ人里に出没するのか?]</p> <p>近年野生動物による出没被害が深刻化しています。特にクマ被害は全国的に深刻化しています。40年前にはこのようなことはありませんでした。なぜ、年々出没被害が加速しているのでしょうか。兵庫県では、2000年以降、科学的な野生動物管理をめざしたデータ分析を行い、対策に反映させてきました。2010年頃出没被害がピークとなりましたが、全国に先駆けて被害は減少傾向にあります。この講座では、兵庫県の科学的な野生動物管理について解説します。</p>
<p style="text-align: center;">9月19日(土) 10時00分～11時30分 丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p>第6回 講義 武田 重昭 [ランドスケイピングーまちと暮らしの景営学ー]</p> <p>ガーデニングは美しい庭をつくることが目標ですが、むしろそのプロセスを楽しむ生活の時間にこそ本質的な魅力があります。このように環境に関わり環境と一体となるような働きかけの対象を庭からまちに広げてみれば、私たちの人生もまちももっと楽しく魅力的になるのではないのでしょうか。日常の暮らしぶりを変えることからまちの風景に変化を生み出していく、そんなまちと暮らしのリノベーションのあり方を考えてみたいと思います。</p>
<p style="text-align: center;">11月6日(金) 現地学習</p>	<p>第7回 講義 現地学習 [京都府舞鶴市] 赤れんが博物館 他</p> <p>海軍のまちとして発展してきた舞鶴市。赤れんが博物館は、旧舞鶴鎮守府の海軍施設として建てられた、100年以上の歴史を持つ赤れんが建造物です。重厚で美しい建築は、リノベーションによってよみがえり、現在は歴史と文化を伝える施設として活用されています。国指定重要文化財として保存され、舞鶴ならではの歴史と地域の魅力を感じられる文化施設などを見学します。</p>
<p style="text-align: center;">12月12日(土) 10時00分～11時30分 ※講義 11時30分～12時00分 ※閉講式 丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p>第8回 講義 高田 知紀 [地域を豊かにする神社コミュニティの再生]</p> <p>神社は、地域の人びとが集い、コミュニケーションを図り、さらに貴重な動植物を育む場でもあります。一方で、少子高齢化や氏子システムの崩壊によって、存続することが難しい神社も出てきています。本講義では、奈良県天理市・和爾下神社における神社を核としたコミュニティ形成の取り組みを紹介し、現代社会において神社空間がもつ様々な価値や可能性について考えます。</p>
<p style="text-align: center;">10月中旬</p>	<p>「国際フォーラム」を予定しています。(詳細は後日発表します。)</p>

※プログラム日程は講師の都合で変更することがありますので、予めご了承ください。